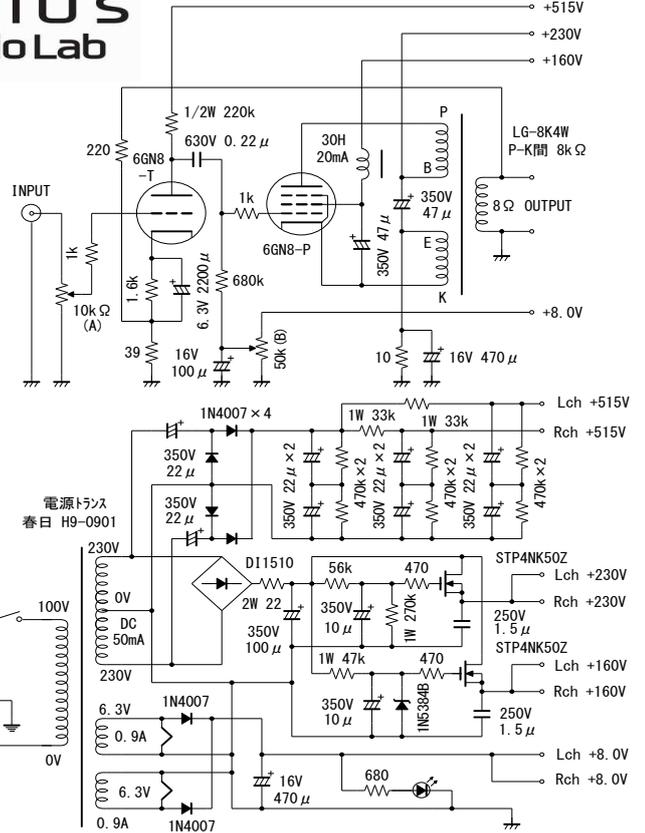


6GN8負荷中点接地アンプ

ARITO@伊吹南麓

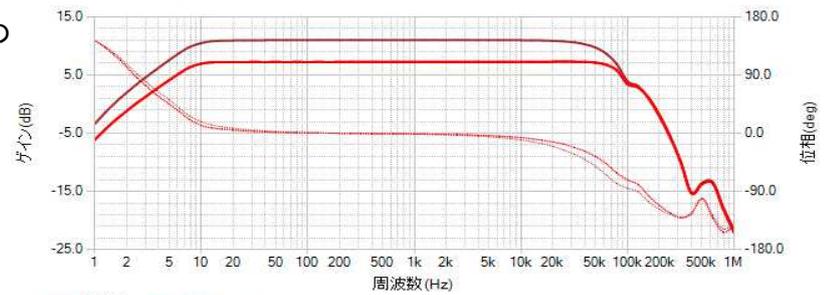


負荷中点接地アンプというのは、出力段の出カトランスの中心を交流的に接地し、プレートとカソードの両方から半分ずつ出力を取り出すシングルアンプです。動作的には位相反転のP-K分割回路と同様で、50%の深いカソード帰還が掛かるため、低い出力インピーダンスでスピーカーを駆動することができ、多極管の弱点を補うことが可能です。

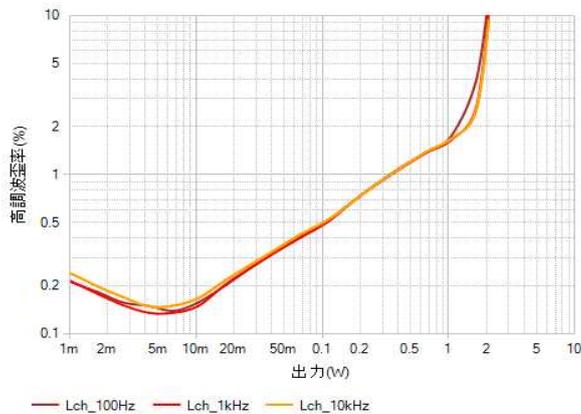
本機では、元々プッシュプル用の一般品を元に、一次側をスプリット化し、シングル用と同じコア組みをしたトランスを開発し、試してみたいお客様に対応できるようにしました。

ダンピングファクターは無帰還状態で6、わずかに4dB未達のNFBで10を超える結果を記録しました。

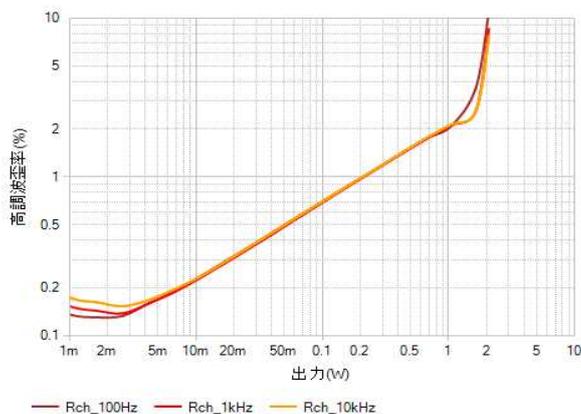
6GN8負荷中点接地アンプ 周波数特性 (Rch, 8Ω負荷, 1V出力時)



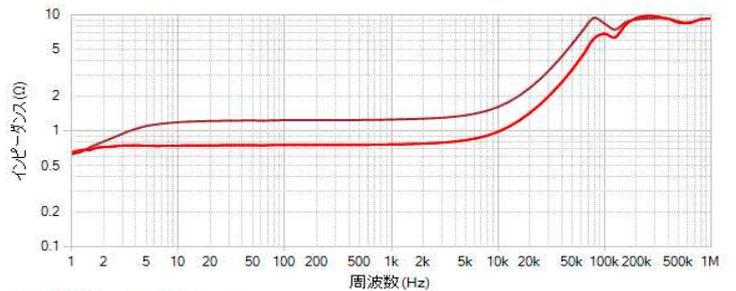
6GN8負荷中点接地アンプ 全高調波歪率特性 (Lch, 8Ω負荷)



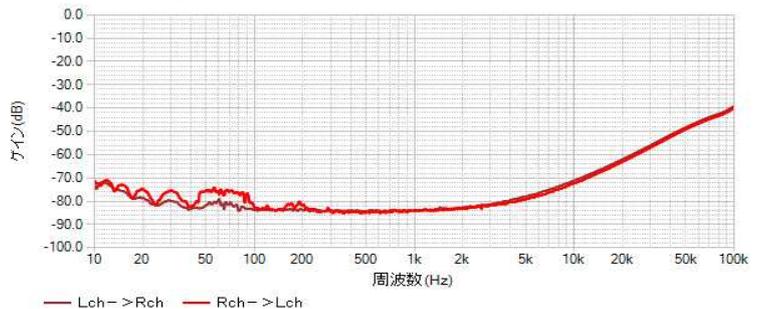
6GN8負荷中点接地アンプ 全高調波歪率特性 (Rch, 8Ω負荷)



6GN8負荷中点接地アンプ 出力インピーダンス特性 (Rch, 注入法, 1Vrms)



6GN8負荷中点接地アンプ クロストーク特性 (8Ω負荷, 0.5W出力時)



残留雑音

	10~300kHz	IEC-A
Lch	156.4μV	50.57μV
Rch	142.8μV	19.60μV

ダンピングファクター(8Ω負荷, 1kHz, 1Vrms)

Lch	10.34 (出力インピーダンス 0.774Ω)
Rch	10.46 (出力インピーダンス 0.765Ω)

2023. 3. 8
前川有人(滋賀県米原市)